

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

|      |  |
|------|--|
| 対象部局 | 司法研究科  |
| 大項目  | 7 法曹に必要な資質・能力の養成                                       |
| 中項目  |  |
| 小項目  | 7.0.1 法曹養成教育   |
| 要素   | 法曹に必要なマインドとスキルを養成する教育内容が、開設科目等の中で適切に計画され、適切に実施されていること。 |

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

| 2009年度に設定した「目標」      | 左記目標の「指標」                    | 進捗状況評価 |      |      |      |      |
|----------------------|------------------------------|--------|------|------|------|------|
|                      |                              | 2009   | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|                      |                              |        |      |      | ☆    |      |
| 2010年度以降に設定した「目標」    | 左記目標の「指標」                    | 2009   | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
| 1. 新司法試験合格率を向上させる。   | →本学の合格率と全国平均との比較             |        |      | B    | B    |      |
| 2. 法曹外の法務関係業務への人材育成。 | →法務関係(公務員、裁判所職員、企業法務等)への就職者数 |        |      | C    | B    |      |

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

|     |   |
|-----|---|
| 目標1 | 2012年度司法試験の合格率は、前年より0.1%減の14.6%となり、全国平均合格率25.1%とかなりの開きがあった。全国平均合格率に到達することを旨として、教員は努力を重ねている。   |
| 目標2 | 本学修了生の法務関係(公務員、裁判所職員、企業法務部)への就職者数は累計で62名である。法曹外業務で活躍している修了生をパンフレットで紹介し、キャリアガイダンスでは法曹外業務の情報提供、カウンセリングを行っている。また、公務員、企業法務へ就職した修了生のネットワークを組織し、勉強会・交流会を開催している。 |
| 備考  |   |